

東部道東側や愛子駅以西 公共交通バス以外検討

仙台市あすから意見公募

仙台市は持続可能な公共交通ネットワーク構築に向けた「地域公共交通計画」(2022~26年度)の中間案をまとめ、22日からパブリックコメント(意見公募)を実施する。沿線人口や利用者が少ない路線バス運行エリアは、地域交通などバス以外のさまざまな交通手段の導入を検討する。

市交通局と宮城交通が運行する路線の沿線人口、利用実態をエリア別に評価。夜間の人口密度が1ヘクタール当たり20人以上、運行本数が1日40本以上ある「支えるエリア」、それ以外の「育むエリア」に区分けした。

支えるエリアは東端が仙台東部道路、西端がJR仙山線愛子駅周辺。主に市中心部や郊外の住宅地、JRや市地下鉄の駅周辺と沿線地域に広がる。

エリア内では仙台駅前に向かう路線を「幹線区間」と「準幹線区間」、鉄道駅に結節する「フィーダー区間」に分類。幹線区間では各バス事業者が運行ダイヤを調整し、同一運賃を設定する共同運行を目指す。

育むエリアは仙台東部道路東側、愛子駅以西のほか、**青葉区みやぎ台、赤坂両地区**、太白区秋保温泉地区、泉区根白石地区などが含まれる。地域の実情に合わせ、バスの運行ダイヤを見直すとともに、乗り合いタクシーやデマンド型の地域交通の導入を検討する。

パブリックコメントは12月22日まで。中間案は市のホームページに掲載するほか、各区役所などで概要版を配布する。市は寄せられた意見を踏まえ、来年3月下旬に計画を策定する。

針を発表した。
市は対象面積を8722畝
と見込み、総額3488万
下落を受け、色麻町は19日
の町議会全員協議会で、主
食用米の生産者に10円当た
けを始め、来年2月までに
支給する。

東部道東側や愛子駅以西 公共交通バス以外検討

仙台市あすから意見公募

仙台市は持続可能な公共交通ネットワーク構築に向けた「地域公共交通計画」(2022~26年度)の中間案をまとめ、22日からパブリックコメント(意見公募)を実施する。沿線人口や利用者が少ない路線バス運行エリアは、地域交通などバス以外のさまざまな交通手段の導入を検討する。

市交通局と宮城交通が運行する路線の沿線人口、利用実態をエリア別に評価。夜間の人口密度が1畝当たり20人以上、運行本数が1日40本以上ある「支えるエリア」、それ以外の「育むエリア」に区分けした。

育むエリアは東端が仙台東部道路、西端がJR仙山線愛子駅周辺。主に市中心部や郊外の住宅地、JR

や市地下鉄の駅周辺と沿線地域に広がる。

エリア内では仙台駅前に向かう路線を「幹線区間」と「準幹線区間」、鉄道駅に結節する「フィーダー区間」に分類。幹線区間では各バス事業者が運行ダイヤを調整し、同一運賃を設定する共同運行を目指す。

育むエリアは仙台東部道路東側、愛子駅以西のほか、

青葉区みやぎ台、赤坂両地区、太白区秋保温泉地区、泉区根白石地区などが含まれる。地域の実情に合わせ、バスの運行ダイヤを見直すとともに、乗り合いタクシーやデマンド型の地域交通の導入を検討する。

パブリックコメントは12月22日まで。中間案は市のホームページに掲載するほか、各区役所などで概要版を配布する。市は寄せられた意見を踏まえ、来年3月下旬に計画を策定する。

**経済再生・子育て
民間と連携必要**

国民運動本部長
村井知事が強調

全国知事会の国民運動本部は19日、ウェブ会議を開き、国への要望活動や各種課題への対応強化に向けた民間団体との連携の在り方を協議した。本部長の村井